

八雲

第46号

(平成21年10月発行)



勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし



組織の状況について

八雲会会長 角 谷 雄 輔 (高7期)



朝晩はめっきり涼しくなり、寒さを感じる日もありますが、皆さんはお変わりなくご健勝のことと存じます。

毎年のように異常気象が続き、今年は5月の植えつけ時期に気温が上がらず、稲や野菜の初期成育が遅れ、その後入梅の遅れと梅雨明けの遅れが重なり散々の年となり、我家の西瓜は甘味がつかず、果物も甘味不足となり農家泣かせの年となりました。

さて、昨年は無事に創立90周年の記念行事を終え、早くも1年が経ち、次の目標に向かって進まねばなりません。この近年は八雲会の組織強化を訴えてきましたが、八雲会総会も去年今年と戦後生まれの新しい顔ぶれが見うけられるようになってまいりました。戦後生まれのこの皆さんにはいずれは組織の中心となり、この先の大きな行事に参加頂ければ大変ありがたいことと思います。

おかげさまで、この一年間に各支部では組織の再生や活性化の動きが出てまいりました。

数年間にわたって支部の再構築をお願いしてきた松江支部は組織再生に向かって新しい動きがあり、今年は無理としても来春には総会が開催され

る見とおしとなりました。

5月には東京支部の一部の役員の方と今後の対策を話し合い、東京支部組織の再生対策を協議し、近いうちに支部総会が開催できるめどがたってきました。

関西支部は支部長が体調を崩され、とてもお世話できないとの私信を頂き、近畿大東会の事務局長をしておられる10期の高橋潮さんに取りまとめをお願いしました。間をおかず精力的に活動頂き、9月には準備会をするとの案内を頂き、校長と2人で会に出席し、顔見知りの方を含め10人ほどの参加があり、昼食を取りながら今後の取組みを協議し準備会の役割も決めて頂き、大変実りの大きい会となりました。

最後になりましたが、寒さに向かい新型インフルエンザが益々猛威を振るう恐れがあります。健康に充分留意され、この冬を過ごされますようお願いしています。

会長連絡先 大東八雲会本部 八雲会会長 角谷雄輔
島根県大東町織部 TEL 0854 - 43 - 2243



八雲会会員の皆様へ

校 長 河 原 一 朗



八雲会の皆様には、益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。本校の教育活動につきまして平素から様々なご協力と支援を頂きありがとうございます。とりわけ、昨年度は創立90周年記念事業では大変お世話になりました。今後は、100周年に向けて今まで以上に魅力と活力ある大東高校づくりに努めたいと思っています。

ここで学校の主な状況をお知らせいたします。

本校の現在の校舎は大半が昭和40年代に竣工し、特に耐震性が著しく低い部分があることから、本年度から3年間かけて耐震補強、改修、新築、バリアフリー化等を行うことになりました。既に、本年度は体育館の耐震補強が終了し、来年度と再来年度にかけて、2棟の3階や耕心寮の解体、5棟の新築などを行う予定になっています。

部活動については、6月上旬に開催された県高校総体は男女総合成績で、生徒数が本校の2倍以上の大規模校も含めて9位（昨年は15位、一昨年は11位）でした。

野球部は夏の大会で惜しくも、1回戦で平田高校に敗退しました。

私も大会には応援に出かけましたが、生徒諸君は大変健闘していました。各部とも既に次の大会に向け練習に励んでいます。

文化部も活躍しており、吹奏楽部が9月に行われたマーチングコンテスト県大会で金賞となり5年連続で中国大会に出場することになりました。

大会報告会では、各部のキャプテンが、保護者や監督をはじめとする周りの人への感謝の気持ちを述べていました。こういった心を持てることは、人間形成にとって、大会結果以上に大切であり、あらためて本校の生徒が人間的にも日々成長していることを感じました。

また、学習面でも総体終了後、3年生は放課後の補習をはじめするなど進路面にも力を入れています。

今後とも、八雲会の皆様には引き続き母校への応援をお願いします。

学校創立百年を目指す

八雲会事務局長 大東高校教頭 安田 純士

昨年11月1日、本校は皆様に「創立90周年」を祝していただきました。各方面から多くの来賓、また卒業生の皆様にご来臨いただき、晴れやかで厳かな記念の日を迎えることが出来ました。皆様にはこの紙面をお借りして、あらためて厚く御礼申し上げます。

90年の節目を経過し、いよいよ大東高校はその歴史において「百年」という大台に達しようとしております。折りしも本校は今年度から「耐震対策事業」の対象校となり、第5棟の新築をはじめとして校舎の全面的大改修（築）をおこない、平成23年にはほぼすべてが「新築校舎」として完成する予定です。その際、外見だけのリニューアルではなく、学校としての中身（教育そのもの）にも様々な改善を加え、これまで以上に内容の充実と向上をさせたいと全職員ですでに昨年度から様々な取り組みをおこなっております。どうか今後の大東高校の変貌にご注目いただきたいと思います。

しかしながら、この様な中、一方で本校は大きな問題も抱えております。それは県内の多くの高校に見られる中山間地の少子化による「入学者数の定員割れ」という厳しい現実です。このことは本校とて例外ではなく、それへの対応は「大東高校」の今後の存続に関わる最重要課題であります。現在、我々はさまざまな方法でその対策に取り組んでおりますが、八雲会の皆様にもどうか各方面でのお力添えをいただきますようこの紙面をお借りしてお願い申し上げます。

教育は「百年の大計」と申します。その歴史、百年間になんなんとする本校卒業生（八雲会）の皆様のごこれまでの足跡は、必ずや大東の、鳥根の、また日本の、世界の足跡として残る事でありましょう。その「大計」成就に向かっての皆様のご活躍とご健勝を祈っております。

百年を前に卒業生会「八雲会」の活動も、地元の各地区はもちろん、おかげさまで今年度から各支部の皆様の特段のご尽力によって、遠方の支部でも活発になってまいりました。奥田勲様（高10期）のお計らいで「関東支部」が、高橋潮様（高10期）のお計らいで「関西支部」が、富久禮識様（高6期）のお計らいで「広島支部」が、岩橋弘政様（18期）のお計らいで「松江支部」が本格稼働の運びとなっております。

どうか各会員の皆様におかれましては、積極的にこれらの卒業生会に参加していただき、旧交と親睦を深められて、これからの新たな活力にさせていただきますように・・・。

今度ご帰郷の時は、また、大東においでの際は、是非学校にお立ち寄り下さい。
生徒、職員一同お待ちしております。

「百歳の大東高校」をどうかよろしくお願い申し上げます。

～90周年祝賀会の様子～



パワーポイントによる本校の足跡の紹介

平成21年度 八雲会総会報告

平成21年度八雲会総会が、7月11日(土)午後2時30分から大東公園体育館内の大研修室で開催された。今年度は、会に先立ち、プレゼンテーションによる総合体育大会の報告や耐震補強工事等による校舎等の増改築について学校側から学校の「近況報告」を行った。

総合体育大会については今年度第9位(昨年15位、一昨年11位)と大いに健闘したこと、耐震補強工事については、第4棟横に第5棟を新築し、音楽室と視聴覚教室をその中に移設すること、第1棟の1年生の教室を第3棟に移設し、第1棟は特別教室棟として補強工事を行い、バリアフリー化を進めることを報告した。また、併せて移設完了の後、第2棟3階部分の撤去と長年にわたり合宿所として、また近年は茶道部の活動場所として利用してきた「耕心寮」が危険建物として併せて取り壊されることを報告した。

総会では、角谷会長、河原校長の挨拶の後、議事に入り、20年度の事業、決算報告、21年度の事業計画および予算の報告について報告がなされたが、今年度の入学生から名簿の発刊をしない旨の報告がなされた。

昨年、創立90周年を過ぎ(詳しくはP.3の事務局長(教頭)の報告を参照)、いよいよ創立100周年に向かって、今後の八雲会のあり方、少子化に対応して如何にして大東高校をよりよい方向に持っていくかなど話し合いがなされた。

議事終了後、恒例の講演会が行われ、今年度はFM山陰の人気番組「おがっちのレトロ



本舗」で名パーソナリティとして活躍中の「おがっち」こと小片悦子(おがたえつこ)氏に「今日も元気でヤッホー!」と題して講演いただいた。彼女の経歴紹介に始まり、FM山陰に登場されるまでのエピソードを、時に「出雲弁」を交えてにこやかにお話しいただき、参加者は早口言葉が載せられた「アナウンストレーニング資料」で、例えば「菊・栗・きく・くり・三菊栗、合わせて菊・栗・六菊栗」など、一生懸命(人によっては苦勞しながら)割舌訓練を受ける場面もあり、あっという間に90分が過ぎた楽しい参加型講演会であった。総会終了後は講師の小片氏にも特別参加していただき、総会出席者のほとんどの方のご参加で懇親会が催されて、講演会の和やかな雰囲気を保ちながらすべての日程を滞りなく終了することができた。

今回の本部総会出席者は60名程度であったが、創立100周年に向け八雲会の各支部での活動が一層活性化されることを願ってやまない。

(事務局 門脇)

広島支部会報告

平成21年度八雲会広島支部総会が7月21日(土)、17時30分から広島駅近くのホテルニューヒロデン「嵯峨の間」で開催された。近年広島支部では毎年7月の第3土曜日に定期総会が開催されており、例年、会長、副会長等の八雲会役員及び事務局員等も出席させていただいている。本年は河原副会長(校長)、安田事務局長(教頭)、安部理事(P.T.A会長)、私、事務局幹事の青木の4名が参加した。支部会員の方の出席者は23名であったが、総会用のしおりには30名の会員の方々からのメッセージが掲載されており、興味深く拝読させていただいた。

総会では、八雲会広島支部事務局長の勝部省三氏による開式のことばに続き、富久広島支部長、河原八雲会副会長(校長)のそれぞれのあいさつ

八雲会校内幹事 教諭 青木 愛治(高18期)

等があり、乾杯に先立って、今年度は新たな試みとして、安田八雲会本部事務局長(教頭)手作りの本支部総会用のパワーポイントにより、本校の足跡、近況が映像で紹介された。懐郷の念を禁じえない懐かしい映像も多々含まれており、参加者の好評を博した。乾杯の後、参加者全員が自己紹介を兼ねて、近況報告等を中心にショートスピーチを行った。

懇親会では終始和やかな雰囲気の中、4つのテーブルを囲みしばし旧交をあたたためあい、テーブルごとによもやま話に花が咲き、宴をしめくくる校歌斉唱で盛り上がりは最高潮に達した。尽きない話はホテル地下1階スナックでの2次会に深夜まで持ち越され、短い夏の夜を心行くまで堪能した後散会した。

八雲会広島支部の歩みを振り返って

八雲会広島支部長 富久 禮識 (高6期)

歳月のたつのは早いもので、私が八雲会広島支部の支部長に就いてから30年余りが過ぎました。多少の時期の間違ひがあることはお許しいただき、創立百年を目前にしたここで、私が大東高校の卒業生会「八雲会」に関わるようになってからの様子を記憶をたどりながら綴ってみたいと思います。

確か昭和55年の初夏の頃であったと思います。当時、山陰合銀広島支店に勤務しておられた黒田徳郎君(7期卒)が、可部の私の家においでになり、「近々広島支店から島根の方へ転勤になるので八雲会広島支部長の役を引き受けてもらいたい」との申し入れがありました。突然の話であり、当時私も社内の異動で新しい職場に移ったばかりで少々困りました。しかし、後任が見つからず、本人も困っておられることがわかり、引き受けることを承知いたしました。

このころの八雲会広島支部の事務局の世話をしておられたのは確か中国財務局に勤務されていた稲田幸雄君(8期卒)と司法書士の門脇満君(19期卒)の両名の方ではなかったかと思ひます。私を含め今では皆「還暦」を過ぎ、更には「古希」を過ぎる年齢になりましたが、当時は皆働き盛りの30~40代であり、それぞれがよく仕事に励み、また、よく遊びました。

ある時、稲田君から「大東から『ふるさと便』で『ちまき』が届いたので『ちまきを食べる会』を開きたい」との連絡があり、在広の会員の有志が四~五名集まって郷土の味を堪能するという楽しいひとときを過ごしたことが忘れられません。

このころの会員は年齢も皆若くて仕事も忙しい人が多かったため、八雲会広島支部の会合も毎年開催場所・日程もその年々で変わりましたが、広島市内の公務員関係の保養施設をその会場として多く利用していました。その後、昭和57年(1982年)頃に稲田君の転勤の都合で、事務局の役を森脇輝雄君(11期卒)と門脇満君の両君にやっていただくことになりました。

このころから支部総会は森脇君の店の近くで、広島駅から6百メートル余りのところにある「ホテルユニオン」(現広島インテリジェントホテル)に決めて毎年開催することにしましたが、開催日についてはその年毎に変わっていました。このあたりから広島支部の現在のような運営の基礎ができたと思ひますが、この時代のこの森脇・門脇両君の献身的な努力こそが現在の広島支部の活発な活動のベースになっています。「昭和59年に広島支部が再出発した!」と「大東高校創立70周年誌」に書かれている通り、このころから広島支部の運営はさらに充実していきます。

昭和60年(1985年)頃からは毎年「7月の第

3土曜日」に支部総会の日を決めておこなうようになりました。当時は日本経済はバブル景気の絶頂期にありました。

このころの、ある年の総会に初めて出席されたSさんが自己紹介の際、「私は今年胃ガンの手術をして、やっとよくなったので、今年から健康である限り毎年八雲会に出席します!」と話されました(※術後の経過も良く、Sさんは今年(平成21年)も元気に出席しておられます)。また、このころから総会では毎年各委員それぞれの近況報告と、カラオケによる「懐メロ大会」をおこない、楽しい宴を中心に催して、総会終了後は広島市中心街の夜の街、流川(ながれかわ)で居酒屋(スタンド)を貸し切った二次会、が恒例となりました(※その後、この店が閉店したため、今ではホテルのバーでおこなっていますが)。

昭和64年は、1月7日に昭和天皇崩御となり、1月8日から年号も「平成」と変わりました。永く続いたバブル景気も平成3年頃からまさに泡沫のごとく消え、一変して平成不況へと落ち込みました。

平成7年の1月には阪神淡路大震災が発生。大変な年になりました。私は翌年の平成8年の1月に、42年間勤めた会社を定年退職しましたが、その後急遽ゴルフ場への再就職の話があり、同年の4月から平成17年までの9年間勤めました。このころから不況の波はさらに強くなり、毎年会場にしていた「ホテルユニオン」が経営不振に陥って経営者も変わり「広島インテリジェントホテル」と名称も変わりました。当時の総会出席者は20名前後でした。

その後、平成12年(2000年)から、総会の会場を広島インテリジェントホテルから「ホテルニューヒロデン」へと変更し、開催日は今までどおり、毎年7月第3土曜日として開催しています。このころから、会員の年齢も60歳を迎える方が年々増え、毎年、定年で第2の人生へと再出発される方が増えてきました。総会での近況報告の中でM君は、「退職後NHK放送学園大学に入学し経済学を学んでいる」と、年齢に関係なく知識欲旺盛な状況話し、張り切っておられました。また、K君は世界の山々の清掃作業奉仕のボランティアグループに入り、「先般ヒマラヤ山地で奉仕活動をしてきた」との報告がありました。皆さん定年後もそれぞれに目標を持って頑張っておられます。

平成13年9月に米国での同時多発テロが発生し、全世界がテロの脅威に襲われました。翌14年1月には、私事ですが心臓の手術を受けました。この年の総会は7月20日に開催し、この時だったように思ひますが、出雲地方の名物である鯖と鱈

の串焼きを幹事の青木氏が持参され、出席者は大変喜んで郷里の味を久しぶりに味わい盛大な宴となりました。

この年の9月には我々6期卒業の同期生会を島根県以外では初めて広島で開催しました。東京・福岡等から46名が集まり盛大に行いました。

平成19年には角谷八雲会会長（7期卒）が初めて広島支部総会に来られ、卒業以来半世紀ぶりの再会となりました。お互いに歳はとっても元気であることが何にも代え難いことであると語り合い、当日は楽しい宴となりました。

平成20年から、永年広島支部の運営に尽力していただいた森脇君から事務局の世話役を勝部省三君（13期）に交代しました。この年の7月19日に開催した支部総会には鳥谷副会長・野津校長・門脇幹事を迎えておこないました。野津校長から学校の近況を詳細に話していただき、当日の出席会員24名は後輩の活躍ぶりを自分たちの青春時代と重ねながら拝聴いたしました。

今年（平成21年）の支部総会は7月18日（土）、在広会員22名が出席し、この4月に校長に就任された河原校長ほか、安田教頭、青木幹事、安部PTA会長を迎え、会は勝部君の司会で始まりしました。河原校長の挨拶、そして安田教頭によるスライド映像による在校生の活動状況の報告があり、学校施設の状況や後輩達の現況が大変良くわかり、今更ながら変わりゆく時代の流れを再認識しました。続いて勝平君（6期卒）の乾杯の音頭で懇親の宴に入り、恒例のカラオケ大会と自己紹介があ

り、今年は2人の初参加者がありました。会も終わりに近づき、狩野さん（5期卒）の中締め挨拶で締め、また来年も皆元気にこの場所に集うことを誓い、恒例による出席者全員の校歌斉唱で総会は盛会裡に終わりました。この後、有志による二次会をホテル内のバーにておこない、遅くまで懇親の語らいが続きました・・・。

最後に、広島支部がこの様に今日まで永く続いてきましたのは、これまでの事務局スタッフの皆さんの熱心な努力と、八雲会本部および支部全員の協力に負うところが大きかったと思っています。また、会場を提供していただいているホテルニューヒロデンの協力もあり、例年安心して開催することができております。この各方面の皆様には紙面をお借りしてあらためて御礼申し上げます。八雲会広島支部はこれからも「継続は力なり」をモットーに、楽しい会を続けていく所存ですのでどうか皆様には末永くよろしくお願ひいたします。

・・・以上、我々が毎年「新たな元気」をもらっている八雲会広島支部の歴史を、学校創立百年を前に概観してみました。八雲会各支部のすべての皆様の、ますますのご活躍とご発展を祈念して筆を置きたいと思ひます。

平成21年10月吉日

広島支部連絡先・問い合わせ先

広島支部長 富久禮識 ・ 事務局長 勝部省三（13期）
広島市 安佐区 TEL 082 - 815 - 1819

東京支部会報告

東京支部会は、去る5月27日、東京新宿「御八総本店」で開催いたしました。出席者はご多忙のところ、また、遠路はるばる大東から角谷会長、河原校長、安田教頭、そして支部からは4人が出席しました。

急な計画でもあり、十分な参加ではありませんでしたが、会の最初に大東高校90周年の映像を安田教頭先生の詳しいコメントでオープニング。支部の出席者は少々「高齢者」でもあり、昔懐かしい思い出話に花が咲き、高校時代に帰ったような気持ちになり大変盛会でした。

久しぶりの支部会でしたが、東京支部の会員は「ふるさと会」の会員と重なり、また、同窓の絆が太いところでは同期会を開催するなどの事情があり支部会を計画しても出席者が少なく難しい状況があります。

八雲会東京支部長 奥田 勲（高10期）

しかし、盛大な会でなくても継続する事が大切であると常々思っているところですが、安田教頭先生からは90周年で整理した名簿やタックシールまで作成して送っていただきましたので、これを契機に、また、財産として活用し恒常的に会を開催しなければと考えています。安田教頭先生の心のこもったご配慮、ご支援誠にありがとうございます。その期待に応え、少しでも充実した会になるよう頑張ります。

東京支部連絡先・問い合わせ先

東京支部長 奥田 勲
〒257-0006 神奈川県秦野市北矢名 666-234
TEL・FAX 0463 - 77 - 3285
メールアドレス isao666234@ybb.ne.jp

関西支部会報告

休眠状態であった関西支部は、本部からの要請にもとづき活動を開始した。10月3日、角谷会長・河原副会長（校長）を迎え、有志10人が集まり、今後の運営・活動について話し合った。

休眠していた大きな理由は、①運営する体制がしっかりしていなかったこと、②近畿大東会や近畿加茂会などふるさと会が誕生し、昔の仲間との交流・親睦はなされていた、ことにあるような気がする。現に4年前だったか、大東高校が甲子園に出場するような評判が立ち、役場からも、そうなった時は大東会が中心になって応援頼みますよ、と声がかかった。残念ながらエース不調で、予選敗退となり大東会の出番は無くなったが、大東高校の卒業生でもない会長が大張り切りだったことを覚えている。ことほど左様に故郷大東に関することは、大東会が担う場面もあり、八雲会の存在意義は薄かった。とは言うものの、100周年を迎える母校のことは無視出来ず、復活賛同者に働きかけ今回の会合に漕ぎつけた。

会合では、今後の組織運営・活動を中心にして話し合ったが、問題点も多く出され予定の2時間を大幅に超過するほど過熱した。

八雲会関西支部事務局長 高橋 潮（高10期）

今後の支部運営については、体制充実が必要であり役員を下表のように決めた。なんせ、会員が600名を超える多さであり1人や2人の力ではどうにもならない。運営委員の増員を含めてより多くの賛同者を得て、その人たちを中心にして運営することが重要と考えている。

なお、支部総会は、来年4月開催で決った。これから準備に入りたい。

（今回決まった八雲会関西支部の新役員）

支 部 長 広木益夫（16期）
 事務局長 高橋 潮（10期）
 運営委員 陶山重忠（6期）・永瀬剛志（10期）
 高橋勝彦（10期）・千原 章（10期）
 岩田 稔（11期）・三島 修（13期）
 木村信蔵（18期）・景山幹男（19期）
 中村 淳（22期）

関西支部連絡先・問い合わせ先

関西支部長 広木益夫
 事務局長 高橋 潮
 〒636-0071 奈良県北葛城郡河合町高塚台2-13-8
 TEL 0745-73-0553
 メールアドレス ushiot2000@yahoo.co.jp

八雲会平成20年度事業報告と平成21年度事業計画

平成20年度 事業報告

5月21日(水) 第1回幹事会
 (役割分担、事業、決算、予算)
 6月9日(月) 第2回幹事会(役員会)
 6月11日(水) 監査会、役員会
 (決算、予算、事業、総会)
 6月19日(木) 選考委員会(役員改選)
 6月30日(月) 第3回幹事会(総会)
 7月12日(土) 八雲会総会

演題「満州に連れ出された女学生
 ～大東高等女学校皇農隊の記録～」

講師 元県立大東高等学校
 教諭 浜田孝志 先生

7月19日(土) 広島支部会(鳥谷副会長、校長、門脇)
 9月27日(土) 阿用支部会
 10月初旬 会報「八雲」第45号発行
 11月1日(土) 創立90周年記念事業祝賀会
 11月7日(金) 春殖支部会(青木)
 11月28日(金) 海潮支部会(門脇)
 12月10日(水) 加茂支部会(門脇)
 平成21年
 2月9日(月) 第4回幹事会(八雲会入会式)
 2月14日(土) 幡屋支部会(梶谷)
 3月1日(日) 第61期八雲会入会式
 3月7日(土) 久野支部会

平成21年度 事業計画

5月14日(木) 第1回幹事会
 (役割分担、事業、決算、予算)
 5月27日(水) 東京支部会(会長、校長、教頭)
 5月30日(土) 大東支部会(青木)
 6月3日(水) 第2回幹事会(役員会)
 6月10日(水) 監査会、役員会
 (決算、予算、事業、総会)
 6月29日(月) 第3回幹事会(総会)
 7月11日(土) 八雲会総会

演題「エンジョイふるさと！」

講師 FM山陰パーソナリティ 小片悦子氏

7月18日(土) 広島支部会(校長、教頭、青木)
 10月30日(金) 会誌「八雲」第46号発行
 10月25日(日) 阿用支部会()
 月 日() 春殖支部会()
 月 日() 加茂支部会()
 月 日() 海潮支部会()
 月 日() 穴道支部会()
 月 日() 久野支部会()
 月 日() 幡屋支部会()
 平成22年
 2月 日() 第4回幹事会(八雲会入会式)
 3月1日(月) 第62期八雲会入会式
 * 関西支部会は活動開始

平成20年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	1,239,000	1,224,750	▲ 14,250	250円×4,899人
繰越金	2,608,922	2,608,922	0	前年度繰越金
返還金	0	300,000	300,000	90周年記念事業より返還金
雑収入	1078	243,826	242,748	預金利息、過年度生分入会金、景山純孝様より寄付等
合計	3,849,000	4,377,498	528,498	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	850,000	288,362	▲ 561,638	
会議費	450,000	170,595	▲ 279,405	役員会、総会費等
旅費	200,000	51,900	▲ 148,100	支部会出席旅費
通信費	100,000	22,166	▲ 77,834	郵券等
事務費	100,000	43,701	▲ 56,299	事務用品代等
事業費	1,180,000	756,886	▲ 423,114	
八雲発行費	600,000	433,172	▲ 166,828	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	520,000	285,104	▲ 234,896	支部助成金(広島、幡屋、阿用、春殖、海潮、久野、加茂)
入会式	60,000	38,610	▲ 21,390	入会記念品(証書入れ)
雑費	100,000	31,600	▲ 68,400	支部一覧表代等
繰り出し金	1,000,000	1,000,000	0	90周年記念事業会計へ繰り出し
予備費	719,000	0	▲ 719,000	
合計	3,849,000	2,076,848	▲ 1,772,152	

特別会計(積立)決算書

平成19年度末残高	4,564,070円
創立90周年負担金	500,000円
平成20年度利息	6,089円
平成20年度末残高	4,070,159円

(収入総額) 4,377,498円 - (支出総額) 2,076,848円 = (差引残額) 2,300,650円・平成21年度へ繰越

平成20年度 大東高校八雲会名簿会計決算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿代	1,648,400	1,393,760	▲ 254,640	今年度入学生分 3,800円×116人、注文分952,960円(245冊)
繰越金	5,021,370	5,021,370	0	
雑収入	1,230	6,997	5,767	預金利息
合計	6,671,000	6,422,127	▲ 248,873	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
名簿発刊業務費	6,240,000	3,776,114	▲ 2,463,886	
調査メンテナンス業務費	1,680,000	1,318,971	▲ 361,029	
名簿発刊業務費	3,070,000	1,590,750	▲ 1,479,250	各種発送費、後納料金等
仕分発送業務費	1,490,000	866,393	▲ 623,607	
予備費	431,000	0	▲ 431,000	
合計	6,671,000	3,776,114	▲ 2,894,886	

(収入総額) 6,422,127円 - (支出総額) 3,776,114円 = (差引残額) 2,646,013円・次年度へ繰越

平成21年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	1,266,000	1,239,000	27,000	250円×422人×12ヶ月
繰越金	2,300,650	2,608,922	▲ 308,272	前年度繰越金
雑収入	850	1,078	▲ 228	預金利息等
返還金	400,000	0	400,000	90周年記念事業より返還金
合計	3,967,500	3,849,000	118,500	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	850,000	850,000	0	
会議費	450,000	450,000	0	役員会、総会費
旅費	200,000	200,000	0	支部会出席等旅費
通信費	100,000	100,000	0	郵券等
事務費	100,000	100,000	0	事務用品代等
事業費	1,520,000	1,180,000	420,000	
八雲発行費	900,000	600,000	300,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	520,000	520,000	80,000	東京、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東各支部
入会式	100,000	60,000	40,000	入会記念品(証書入れ)
雑費	100,000	100,000	0	慶弔費等
繰り出し金	0	1,000,000	▲ 1,000,000	記念式典が終了したため
予備費	1,497,500	719,000	698,500	
合計	3,967,500	3,849,000	118,500	

特別会計(積立)予算書

平成20年度末残高	4,070,159円
平成21年度利息	4,841円
平成21年度末残高見込額	4,070,000円

平成21年度 大東高校八雲会名簿会計予算書

1. 収入の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
名簿代	93,120	1,648,400	▲1,555,280	3,880円×24人分 (前年度未納者分)
繰越金	2,646,013	5,021,370	▲2,375,357	
雑収入	867	1,230	▲363	預金利息等
合計	2,740,000	6,671,000	▲3,931,000	

2. 支出の部

(単位:円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
名簿発刊業務費	344,000	6,240,000	▲5,896,000	
調査メンテナンス業務費	30,000	1,680,000	▲1,650,000	200円×150名
名簿発刊業務費	309,000	3,070,000	▲2,761,000	今年度卒業生発刊分 2,060円×150名
仕分発送業務費	5,000	1,490,000	▲1,485,000	
予備費	2,396,000	431,000	1,965,000	
合計	2,740,000	6,671,000	▲3,931,000	

よろしくお願ひします

平成20年度～21年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	監事	浅間 ソノ	高女3
会長	角谷 雄輔	高7		足立 清	高7
副会長	梶谷 久光	高6		大久保 寿	高7
	鳥谷 尚子	高7			
	景山 純孝	高9			
	河原 一朗	校長			

【代議員】

役職	氏名	期	役職	氏名	期		
大東	浜田 啓子	高6	加茂	竹村 治美	高17		
	狩野 光憲	高7		錦織 直行	高19		
	山本 勉	高7		吉岡 敏隆	高27		
	大坂 裕司	高19	木次				
	狩野 泰秀	高20	宍道 渡部 清美	高27			
	石川 繁	高20	松江				
春殖	上代 貫一	高15	【八雲会支部長】				
	糸原 優二	高33					
	田中 久志	高33					
海潮	安達 茂	高13				大東支部	小山 保尚
	新田 昭隆	高15				幡屋支部	森山 武史
	福間 広明	高20				海潮支部	岡田 圓隆
	宮川 稔	高27				阿用支部	蓮岡 法暉
阿用	陶山 隆之	高17				佐世支部	福間 正明
	細木 康史	高19				春殖支部	門脇 勝
	木色 薫	高20				久野支部	堀江 善彦
久野	上代 英治	高29				塩田支部	黒川 弘義
	三澤 郁穂	高35				加茂支部	金築 暎次
塩田	安達 隆亜	高42	木次支部	佐藤 弘之			
			宍道支部	渡部 清美			
佐世			東京支部	奥田 勲			
			関西支部	広木 益夫			
			広島支部	富久 禮識			
			松江支部	藤原 和夫			
幡屋	武田 宏	高11					
	本多 昭人	高21					
	山崎 達夫	高24					
	山崎 英志	高29					

【理事】

役職	氏名	期	役職	氏名	期
大東	藤原 君子	高女7	幡屋	塩田 黒川 弘義	高18
	渡部ミドリ	高3		佐世 福間 正明	高13
	小山 保尚	高11		武田 肇	高5
	井上 禧宏	高13		森山 武史	高25
	安部 幸治	高24		金築 暎次	高14
	門脇 勝	高13		安部 操	高15
春殖	門脇 廣	高19	加茂	岸本 邦夫	高19
	木村 晋吾	高27		高橋 一裕	高28
	岡田 圓隆	高8		斉藤 雅孝	高28
海潮	塩野 紀富	高9		畑 宏明	高29
	木村 昭憲	高17		加納 忠夫	高31
	蓮岡 法暉	高5		木次 佐藤 弘之	高23
阿用	荒木 幸雄	高9	宍道 渡部 清美	高27	
	石原稚津子	高14	松江	藤原 和夫	高8
	景山 源栄	高15		郷原 利雄	高9
	堀江 善彦	高23		広島 富久 禮識	高6
久野	長沢 正也	高26	関西 細木 実	高9	
	長妻 賢二	高32	東京 奥田 勲	高10	

大東高等学校事務局長	安田 純士 (教頭)	TEL(0854)43-2511	FAX(0854)43-2512
幹事長	梶谷 治代 高28	幹事	青木 愛治 高18
幹事	原 田鶴子	幹事	門脇 康文 高39
		幹事	小山美紀子

同窓会を紹介します

第14期 (37卒) 2組 瓦版

第3号 平成21年10月10日発行

○平成21年5月24日・25日開催した同窓会によせて

2号で同窓会の余韻をお知らせいたしました。卒業後約半世紀ぶりの校歌「勝田の森の奥深く」、応援歌「中天高く雲南の」、なつかしや・・・。

クラスでこの峰へのハイキング、学園祭の前日に壊れたデコレーションの夜を徹しての変身させた「小人ちゃん」、思い出せばキリがなし。

出席頂きました先生、皆様からお便りをいただきました。

先日は、楽しいクラス会にお招きいただき本当に有難うございました。

さすがに、数十年ぶりに顔を見る方もあり、はて、どなただったかなと思出すのに時間がかかった方もありましたが懐かしい顔に合う事が出来てうれしく思いました。

さらに、帰りの車までご用意いただき誠に有難うございました。

すばらしい教え子に恵まれこの上ない教員人生でした。ありがとうございました。

(恩師 石倉誠先生から)

先日は、久しぶりの「同窓会」元気な皆さんの顔を見る事が出来、楽しい一日を過ごすことが出来ました。高校時代の当時にタイムスリップ、一挙に若返った想いでした。

趣向を凝らし、心遣いを頂いた世話人の皆さんに心から感謝、お礼を申し上げたいと思います。先生を含め25名の大勢が参集出来たことは、世話人の皆さんの熱意が伝わったものと大変うれしく思います。

クラスメイト6名を亡くしたことは返すが返すも残念ではありますが現実として受け止めなければなりません。「さぞ無念」だったと思う彼らの分まで元気な毎日を過ごしたいものです。そして、次回また今回と同じように顔をあわせて楽しく過ごしたいものです。

その日まで、どうかご自愛下さい。皆さんの健康とご多幸を心からお祈りいたしております。

(小山義弘さんから)

松江大橋でのホーランエンヤは、生憎の雨でしたが12年に1度の豪華な船行列を見る事が出来よかったです。

玉造での同窓会は久しぶりの再会で顔を見ても名前が思い出せない人もあり(特に女性の方)記念写真と名簿を見ながら思い出しています。

翌日は、松江からレイクラインで松江周辺を廻り午後のやくも号で大阪の3名の方と一緒に帰りました。

私はウォーキング(6km)と、韓流時代劇を見ながら過ごしています。皆が健康であればこそ、又、会う事が出来ます。お互いに体を気をつけて、元気で暮らし再会する日を楽しみにしています。

お世話いただきました、皆様有難うございました。

(福間昭光さんから)

この度は、どうもありがとう 心身ともに疲れられましたね。

心のこもった計画楽しかったですよ。堀川めぐりも遠足気分!

ホーランエンヤ感動いたしました。あの力強く優雅さについ涙がでました。30年も何か過ぎたことがうその様で楽しい思い出でした。ありがとう。

会計報告、瓦版有難う。瓦版楽しみです、出来たら続けて望みます。

(石原稚津子さんから)

ただもの、石原(上代)さん何時も心の籠ったお便り有難うございます。

先般の同窓会につきましては、皆さんの協力によりまして何とか盛会裡に終わったと自画自賛・・・。

同窓生の皆さんはもちろん、企画いたしました頃から8人（石原和子・伊原カタエ・小笹幸雄・前島和子・坂本帛子・曾田美加・高橋良次・愚生）の松江在住者のスクラムが何とも言えない輪・・・和で同窓会を成し遂げることが出来ました。

これも、同窓生の皆さんのご協力のおかげでした。感謝・感謝

同窓会は、これからだと思っています。次は古希の時には必ずと思っています。他にもいろいろ感想を頂いていますが、次号で照会いたします。悪しからず。

同窓会に都合で出席出来なかった皆さん、以下写真のとおり、堀川遊覧、記念写真のとおりみなさん元気でした。又、ホーランエンヤ見学もいたしました。

私たち、何時までも若くはありません。お互い健康に留意し次回同窓会には、全員揃って顔を合わせましょう。



訃報のお知らせ

大塚保生さんは8月5日天国に旅立たれました。享年65歳

長らく広島電鉄に勤められ定年より1年早く退職され、働くことが生き甲斐で、その後、建設会社、コカ・コーラのアドバイザー等と働かれていたとお聞きいたしました。

ご冥福をお祈りいたします。

合掌

3年2組 野々村共弘様が発行なさっている瓦版をいただきました。ありがとうございました。来年も、楽しい同窓会を開催なさってください。

第39期 3年1組同窓会の模様

八雲会校内幹事 教諭 門脇 康文(高39期)

8月15日（土）に第39期3年1組の同窓会を松江市のカラコロ工房で昼間に行いました。会に先立ち、有志で午前中に、既に昇天された青木君・森脇君の墓参を致し、故人の冥福を祈りました。

会では、3年間担任であった菊地節雄先生の退職記念も兼ねて、先生においでいただき、参加者18名で、お互いの旧交を暖め、それぞれが近況報告をしました。遠くは、東京や横浜から帰省に併せて参加してもらいとても賑やかな会となりました。また、菊地先生もお元気で、月2回カウンセリングの会合に出かけられ、普段は家でお孫さんのお世話をするのが何よりの楽しみであるとおっしゃっていました。

高校を卒業して20余年が経ちましたが、それぞれの面影や雰囲気は昔のままの人がたくさんいました。企業に勤める人（営業など）、銀行員、看護師、県の水産試験場勤務、外科医、教員など職種は様々で、近くは大東小学校に勤務している人もいました。

また、私が母校勤務となったので、大東高校を今後とも宜しくと学校状況に併せてお願いいたしました。20余年前を懐かしみながら、20年後の再会を約束して会が閉じられました。



卒業生寄稿

部活動を通じて

第38期(S61年卒) 白根 達也

大東高校を卒業して、はや24年が過ぎましたが、高校生活は本当に楽しかったです。クラスメイト、球技大会、ロードレース、学園祭、授業中の出来事など色々楽しい思い出がありますが、やはり部活動が一番の思い出です。

私はバドミントン部に所属しておりましたが、当時のバドミントン部は県内では強く、お陰様でインターハイと国体に出場させていただきました。当時ご指導頂いた先生方、保護者の皆様、OBの皆様本当にありがとうございました。24年も経っていますが、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

このバドミントンですが、練習は毎日苦しいもので、とにかくランニングと加多神社でのトレーニングをした記憶があります。このランニングとトレーニングは本当に苦しいものでしたが、「これをやり遂げたら自分は必ず強くなれる」と信じてやっていました。何故かと言えば、途中で手を抜こうと思えば簡単に手を抜く事ができますが、それをやり遂げる事で自分に自信がつくと思っていたからです。

高校を卒業して24年も経つと、残念ながらそんな事は忘れてしまっていました。今、これを書きながら思い出しました。明日から当時を思い出して頑張ろうと思います。

これは私が勝手に思っている事ですが、「部活動を頑張っている人は勉強も頑張れる」と思っています。色々なご意見はあると思いますが、高校生の皆さんには、是非、部活と勉強の両立を成し遂げ、この高校3年間で進学する人も就職する人も社会に出る準備をしっかりして欲しいと思います。あっという間の3年間ですから、毎日を大切にしたいと思います。

最後になりましたが、大東高校の益々のご発展をお祈りいたします。

高校生活

第60期(H20年卒) 鳥谷 真広

私は、平成20年3月に卒業し同年4月に就職しました。現在は社会人として1年数カ月が経ち少しずつではありますが、自分らしさを発揮し仕

事ができるようになってきたように思います。まだまだ分らないことばかりで失敗の連続ではありますが、途中で決して諦めることなく勉強そして努力の日々を送っています。

今、社会人となり大切にしていることがいくつかあります。その中の一つに仲間ということがあります。仲間つまり職場の上司や先輩、同僚のことです。一人では小さな力ですが、仲間であれば大きな力になっていきます。私は、この仲間を大切にしていくということは高校時代に培われたものであり、そして現在に役に立ってきていると思っています。部活や学園祭の準備はもちろんのこと、授業等ちょっとしたことから私たちはクラスメイトで助け合い自然と仲間意識が芽生えていったはずで。ごく普通に高校生活を送ることが社会生活の大きな基盤である仲間というものを築きあげていったと思います。

今は、みんながそれぞれの道へ行きバラバラになってしまいましたが、時々連絡をとったりしよき相談相手です。会える機会はどんどん少なくなっていますが、苦楽を共にしてきた仲間が決して簡単には壊れないと信じています。これから先様々なことがあり挫けそうな時もあるかもしれませんが、もし挫けそうな時は、仲間を思い出し気を使うことなく愚痴を言いたいです。

この文章を書いていて思い返してみると、やはり楽しい思い出ばかりでした。私にとっての高校生活はとても充実したものだったに違いありません。たくさんの方に支えられてこそのもので。心から感謝したいです。

高校生活での思い出

第61期(H21年卒) 武田 恵美

ついこの前卒業したばかりに思えますが、気がつけばもう半年が経ちました。私の高校生活での3年間は、とても平凡だったけれど毎日が楽しくて、学校は安心できる場所でもありました。私はソフトテニス部に入部していましたが、部活での思い出は、一生の宝ものです。とても強い部活とはいえませんでした。炎天日の下で仲間と共に練習をした日々は、この先も忘れることはないでしょう。コーチをはじめ、ソフトテニスを通して地域の方々や、沢山の方と触れ合うことが出来、感謝しております。

日常生活では、担任の木幡先生のもとで、のび

のびと過ごすことができました。木幡先生は一見頼りなさそうに見えますが、実はすごくしっかりしておられて、皆から親われるとても頼りがいがある先生でした。ユーモアたっぷり、なぜかいつも終礼が短かく、韓国の女優さんが好きな木幡先生は、皆の人気者でした。今でもクラスでの情景が昨日のように思い出されます。担任の先生だけではなく、大東高校の先生は、どの先生もとても温かく、時には友達のように話が出来、大好きでした。

本当に大東高校には良さが沢山あると思います。私は大東高校の生徒であったことを幸せに思っています。

現在、私は看護学校にいますが、高看は毎日がとても忙しく、テスト続きで勉強・勉強の毎日です。最近ではテストが積まっているため睡眠時間も削って勉強に励んでいます。そんな忙しい日々にも辛くなることもあります。ふと大東高校での思い出を思い出すと、温かい気持ちになり、よし、また頑張ろうという気持ちになります。大東高校での思い出がこの先も私の支えとなってくれるでしょう。

沢山のことを学ばせてくれた大東高校に、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからも大東高校のさらなる発展を願っています。

大東高校で得たもの

第61期(H21年卒) 景山 雄平

こんにちは、3年1組8番景山雄平です。

半年前まではこう名のっていました。まだ半年しか経っていないのに随分と懐かしい思いです。

さて、伝統ある卒業生会誌「八雲」に寄稿させていただくにあたり、高校生活を思い返してみたのですが、私の中では何と言ってもやはり受験勉強が一番の思い出だと思っています。木幡先生、門脇先生と必死になって試験対策をしたことを今でも鮮明におぼえています。何度も修正を加えて、回数を重ねて、やっとの思いで普通の人レベル。私も大変でしたが、先生方はそれ以上に大変だと思っています。その他にも、織部祭に気をとられて勉強がおろそかになってしまったことや、逆にお正月のTV特番を我慢して頑張ったことなどいろいろなことがありましたが、それらはすべて今の私という人間をつくるしっかりとした土台になってくれたと思っています。

大東高校を卒業して半年間、決して楽なことばかりではありませんでした。むしろ、新しい環境において多くの刺激をうけ戸惑ったことも多くあ

りました。しかし、大東で培った土台がしっかりしていたので、比較的楽に今までのところは進んでこれたのではないだろうかと思います。

これから進んでいく人生においても大東で得た土台の上をしっかりとした「私」を作っていくと思います。

拙い文章ではございましたが、最後に母校の益々の御発展を祈り終わりといたします。

絆

第61期(H21年卒) 曾田 周平

先日、高校時代の友人達から今年の織部祭の様子を伺いました。活気に満ち、独創性溢れる新しいアイデアを織り込んだ素晴らしいものだったと、私の友人は話してくれました。私の貴重な高校生活の中でも、織部祭には特別な思いがあります。

1年前には、私も大東高校生でした。夏休みが明け、2学期が始まるとすぐに学校全体が夢中になって織部祭の準備。あの時期は学校中が不思議な一体感に包まれ、とても居心地が良かったことが思い出されます。私達のクラスはもともと仲が良く結束力の強いクラスでしたが、織部祭を通じてより一層個性豊かでまとまったいいクラスになったと思います。

織部祭が終わるとすぐに受験に向けてラストスパートを切りました。3年生の誰もが真剣にそれぞれの進路を考え、それぞれの目標に向かって努力しました。しかし、よく言われるように「受験は団体戦」です。織部祭で確かなものとしたチームワークで教え合い考え合い、時には励まし合って辛い受験戦争を乗り切りました。私は喜びも苦しみも分かち合った高校時代の友人は、一生付き合っていきたい友だと言い切ることができます。

話が変わりますが、私は今関西圏のある大学に通っています。新しい友人もできました。そんな友人とお互いの高校時代の思い出を話し合うと、やはり私は大東高校に来てよかったと心から思います。気さくな同級生、いつも私達を正しい方向へ導いて下さる先生方、共に切磋琢磨する部活動の仲間達。思い出せばあの頃に戻ってみたいとも思います。

これからは毎年お互い会ったこともない後輩も増えていくわけですが、大東高校らしい元気な挨拶が絶えないで欲しいと思います。大東高校の更なる発展を祈っています。



かり た よし お
荻田吉夫さん(高7期卒)

“瑞宝大綬章”おめでとうございます

本校7期卒業生“荻田吉夫”さんが、平成19年4月29日に春の叙勲を受けられました。

経歴

大東町幡屋生まれ

- 昭和30年 大東高等学校卒業(7期)
- 昭和34年 東京大学 教養学部教養学科(国際関係論科)卒業
- 昭和34年 外務省入省
- 昭和36年 オックスフォード大学 政経哲学科卒業(MA)
- 昭和52年 ハーバード大学卒業(フェロー)
- 昭和61年 在シカゴ総領事館 総領事
- 平成5年 在デンマーク国大使館 特命全権大使
- 平成7年 在ニューヨーク総領事館 総領事
- 平成8年 宮内庁 式部官長
その他5ヶ国以上の大使館や総領事館での役職を歴任。
- 平成15年 退官
- 平成15年 森ビル株式会社 特別顧問(至現在)
- 平成15年 キッコーマン株式会社 国際顧問(至現在)
- 平成15年 株式会社 帝国ホテル 特別顧問(至現在)

現在これ以外にも数多くの役職をなさり、お元気で活躍中です。
 皆様へのご紹介が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。
 これからのますますのご活躍をお祈りしております。

高7期卒業生 大久保 寿様よりご紹介いただきました。ありがとうございました。



第47回島根県高等学校総合体育大会結果報告

ソフトボール

- 1回戦：大東8-1 松江商業 (5回コールド)
- 2回戦：大東6-1 三刀屋
- 準決勝：大東10-3 安来 (6回コールド)
- 決勝：大東2-6 出雲商業 **準優勝**

男子バレーボール

- 2回戦：大東2-0 平田
- 3回戦：大東0-2 松江商業 **ベスト8**

女子バレーボール

- 1回戦：大東0-2 松江農林

バドミントン

- 男子団体：決勝 ◎大東3-0 松江北 **優勝**
インターハイ出場
- 女子団体：決勝 大東0-3 松徳学院 **2位**
- 男子個人：シングルス ◎山崎1位 **優勝**
インターハイ出場

大西、野々村 **3位**

ダブルス ◎山崎・加藤ペア **2位**

インターハイ出場

大西・野々村ペア **3位**

女子個人：シングルス 小山 **ベスト8**

ダブルス 小山・森山ペア **3位**

剣道

- 男子団体：2回戦 大東4-0 矢上
- 準々決勝 大東2-2 松江北 (本数勝ち)
- 準決勝 大東1-0 出雲
- 決勝 大東1-4 大社 **準優勝**
- 女子団体：1回戦 大東2-0 松江南
- 準々決勝 大東3-1 島根中央
- 準決勝 大東0-3 横田 **3位**
- 男子個人：森山4回戦進出
- 女子個人：楨原 **3位** 内田4回戦進出

卓球

男子団体：1回戦 大東3 - 1 益田翔陽
2回戦 大東0 - 3 松徳学院
女子団体：1回戦 大東3 - 2 三刀屋
2回戦 大東0 - 3 明 誠

バスケットボール

2回戦：大東61 - 55 松江工業
3回戦：大東51 - 80 出雲北陵 (ベスト16)

陸上競技

女子100mH：和田彩花 **5位入賞(中国大会出場)**
1500m：青木、糸川 決勝進出
5000m：光谷 決勝進出
3000mSC：青木 決勝進出

ソフトテニス

男子団体：1回戦 大東0 - 3 隠岐島前
女子団体：大東1 - 2 平田

空手道

男子団体 形 **4位**
女子団体 形 **3位**
男子団体 組手 **3位**
女子団体 組手 **2位**

◎印は全国高等学校総合体育大会出場

◎総合得点

男女総合103点 (男子総合51点 女子総合52点)

◎順位

男女総合 Aグループ9位 (敢闘賞)

男子総合 Aグループ9位 (敢闘賞)

女子総合 Aグループ7位 (敢闘賞)

- *第43回(平成17年度)大会 男女総合90点(男子46点・女子44点)
男女総合 Aグループ 10位 男子A 9位(敢闘賞) 女子A 8位(敢闘賞)
- *第44回(平成18年度)大会 男女総合109点(男子54点・女子55点)
男女総合 Aグループ 10位(敢闘賞) 男子A 11位(敢闘賞) 女子A 8位(敢闘賞)
- *第45回(平成19年度)大会 男女総合84点(男子48点・女子36点)
男女総合 Aグループ 11位 男子A 15位(敢闘賞) 女子A 12位(敢闘賞)
- *第46回(平成20年度)大会 男女総合76点(男子30点・女子46点)
男女総合 Aグループ 15位(敢闘賞) 男子A 21位 女子A 7位

全国高校総合体育大会の結果 (8月)

バドミントン

- ・男子バドミントン学校対抗戦 **1回戦敗退**
大東1 - 3 鹿児島商業
- ・バドミントン男子個人対抗戦ダブルス
(山崎大嗣・加藤雅俊ペア)
1回戦 2対1 秋田工業高校
2回戦 0対2 東大阪大柏原高校 **2回戦敗退**
- ・バドミントンシングルス
1回戦 山崎大嗣 2対0 荒川(岐阜工業高校)
2回戦 0対2 桜庭(青森山田高校) **2回戦敗退**



卒業生の進路状況について

進路指導部

()内は過年度卒 内数

平成20年度 進学状況	合格者数			進学者数		
	男子	女子	計	男子	女子	計
国公立4年制大学	28(1)	3	31(1)	24(1)	3	27(1)
私立4年制大学	39(4)	32	71(4)	19(1)	20	39(1)
国公立短期大学	1	13	14	1	10	11
私立短期大学	2(1)	16	18(1)	2(1)	12	14(1)
医療系専門学校	3	26	29	3	15	18
その他の専門学校	5	8	13	5	8	13

※国公立4年制大学合格者数
H17年度…27名
H18年度…26名
H19年度…45名

平成20年度 就職状況	事務		営業・販売		技能職		公務員・公的団体		計	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
県内	1	0	0	4	8	3	0	0	9	7
県外	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0
小計	1	0	0	4	9	3	1	0	11	7
合計	1		4		12		1		18	

今春、卒業の進路状況です。全体の90%近くが進学でありその傾向は例年とほとんど変わらない状況といえます。大学・短大・専門学校を含め、県内および中国地方の学校への進学が多いというのも本校の特徴といえます。

最近の傾向として、特に、医療（リハビリ等）・看護系への進学希望者が増えていることがあげられます。このことは、資格取得に加えて地元（あるいは近隣の地域）に養成機関があること、県内での就業においても職場がある程度確保できることなどが考えられます。一時期、希望者の多かった福祉系への進学者は減少傾向にあります。

就職者は少ないものの、昨春秋以降の景気の悪化より前の求人および採用だったため、県内を中心にほとんどが第一希望の企業への就職を決定することができました。これまでの卒業生の事業所での頑張りが、本校への継続しての求人につながっていることを企業訪問等を通して実感したところです。

さて、今年度の現3年生の進路希望の特徴としては特に、例年に増して看護系希望者の多いことがあげられます。生徒の多くは医療機関での看護体験やオープンキャンパス、講演会等を通して看護職への理解・意識が増していることがうかがわれます。資格取得の後には、できれば地元の医療機関で地域医療の一翼を担ってほしいと願うところです。（島根県における看護師確保の対策と併せ、そのための奨学金制度が島根県および各医療機関等において実施されています。ほとんどの医療機関で、卒業後に就業することを条件に返済免除の措置を設けています。）

編集後記

昨年11月に創立90周年記念式典を開催してから、もう1年が過ぎようとしております。会員の皆様には名簿の作製や式典へのご参加など、多方面にわたりご協力いただき誠にありがとうございました。

9年後の平成30年に、創立100周年を迎えることとなりますが、昨年以上に会長様をはじめ、会員の皆様ひとり一人のご協力が必要となってまいります。どうぞよろしくお願いいた

たします。

本日、10月15日は“加多神社の秋祭り”です。良いお天気に恵まれ、朝から笛や太鼓の音が響いています。私も午後からお参りに行きたいものです。

（私が学生時代のこのお祭りは、……全く記憶にございません。）

〈追伸〉

そうそう！今日、今年初めての

“ハットジ”を見ました。

皆様ご記憶ですか？ 秋の名物??を??

（事務局 梶谷治代）



大東高校内八雲会
本部事務局

島根県立大東高等学校 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637
TEL (0854) 43-2511 ・ FAX (0854) 43-2512 E-mail: daito-01@shimanet.ne.jp